

こどもの食物アレルギー出張研修会を開催しました

2025年11月から2026年1月にかけて、宮城県内の医療圏別にこどもの食物アレルギー出張研修会を開催しました。開催地域は、11月に仙南地区、12月に石巻・登米・気仙沼地区と大崎・栗原地区、1月に仙台地区で実施しました。対象は、保育施設・幼稚園、小中学校、児童福祉施設で勤務する教職員と消防職員で、合計217名の方に参加いただきました。講師は、小児アレルギー疾患を専門とする医師と、東北地区小児アレルギーケア研究会に所属する小児アレルギーエドゥケーターの資格を持った看護師と管理栄養士が務めました。

研修内容は、食物アレルギーに関する講義とエピペン®トレーナーを用いた演習、緊急時対応の動画鑑賞、デモンストレーション、ロールプレイで構成されました。

講義では、講師が作成した資料や動画教材を使用して、食物アレルギー発症の仕組みや食物アレルギーの種類について基礎的な学習を行いました。また、緊急性を判断するポイントについて、緊急時対応マニュアルを用いて学びました。

演習では、エピペン®トレーナーを使い、エピペン®の使用方法和手順について確認しました。デモンストレーションでは、参加者の中から6名の方に発見者、準備係、管理者役、連絡係、記録係、救急隊になっていただき、食物アレルギー症状が出た場面を設定し食物アレルギー対応について体験してもらいました。仙台地区以外の地域ではグループに分かれロールプレイも実施し、症状出現時の対応について、発見から初期対応、救急搬送まで一連の流れを通し確認しました。

